

長崎倶楽部

No.35
2008.7.25

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 <http://www.k2.dion.ne.jp/~nkenjin/> 発行人/田崎 俊作

目次

● 巻頭インタビュー26/田上 富久……………	1	● 新人会員自己紹介……………	18
● ふるさと遠めがね……………	5	● 長崎関連イベント予告……………	20
● 講演会/森谷 正規……………	6	● 新刊紹介……………	21
● TOPICS……………	12		

題字：吉田 佳広

巻頭インタビュー
26

私と長崎

田上富久

たうえ とみひさ

（長崎市長）

『さるく博』ガイドもみずから務めた爽やか市長は『市民力』の支持を得て自然体の市政



二人の市長がつづけて狙撃された長崎市のイメージは、この人田上富久新市長の誕生で救われた。市長になる前は市役所の統計課長。選挙戦たった三日で劇的な当選を果たした衝撃的なニュースは全国的に長崎のイメージを変えたからである。選挙戦期間に急逝した現職市長伊藤一長氏の後を争うべく立候補してから、市民の投票で市長になるまで、正確には二日と二時間しかなかったのである。

この四月十七日で「その日」から一年が過ぎた。就任一年を経た田上市長に、長崎市役所でインタビューした。爽やかな笑顔の受け答えには、自信さえにじみ出て、頼もしささえ感じられた。

（2008年5月23日取材・文：堀憲昭、写真：宅島正二）

「田上富久氏のプロフィール」昭和三十一年生まれ。長崎県五島市出身。昭和五十五年九州大学法学部卒業後、長崎市役所入所。平成十四年観光部観光振興課主幹、平成十六年企画部統計課長を経て、平成十九年四月に第三十二代長崎市長就任。現在就任している主な役職としては、日本非核宣言自治体協議会会長（平成十九年四月）、平和市長会議副会長（平成十九年四月）、中核市市長会会長（平成十九年五月）がある。



ちゃんぽんミーティングでは参加者のあいだで化学反応が

◆◆◆ 五島岐宿町から長崎南、九大法学部という経歴

—— ご出身は五島だということですが、まず、経歴からうかがいます。いつから長崎市に。

田上（◆） 高校からです。昭和三十一年（一九五六）生まれで中学卒業まで五島市岐宿町でした。福江島の西部の町で、姉と妹との三人兄弟の真ん中で育ちました。

—— 穏やかな性格は女性に囲まれて育ったからでしょうか（笑）。でも、どうして高校は長崎市へ。

◆ まわりがみんなそんな環境でした。どの中学も一人か二人は長崎市内の高校に進んでいましたので、私は長崎南高に行きました。大学は九州大学法学部で、長崎市職員として昭和五十五年（一九八〇）に採用されました。

—— 市役所での経歴は。

◆ 広報課がいちばん長く勤めた職場になります。入ってすぐに広報課で八年半、その後、いくつかの課を経て二度目の広報室が五年、都合十三年半の広報課勤務でした。そのあと観光部観光振興課を経て統計課長という経歴になります。

ます。

—— 広報誌「さるく」を編集されたのは、広報課時代ですか。

◆ そうですね。当時、広報誌担当の女性とふたりで、「誌名はどうしようか」と相談しているうちに「さるく」という案がでて、「あ、それいいな」と決めました。

—— 「さるく博」の原点がそこにあるそうですね。

◆◆◆ 「ちゃんぽん」から「しっぽく」まで対話をつづけたこの一年

—— 就任一周年ということですが、いろいろ報道メディアの検証がされているようですが、ご自身の感想はいかがですか。

◆ この一年、現場を見ると、この姿勢で地域や町づくりの現場を肌で感じることを心がけました。なにせ、選挙では二日と二時間しか市民に訴える時間がなかったわけですから（笑）。それを踏まえて、秋には方向性として三つの柱を示しました。

—— その柱といいますと。

◆ ひとつは、「個性的なまちづくり」をしようということ。ふたつめは「暮らしやすいまちづくり」、三つめは「市民力を生かしたまちづくり」とい

うこと。どこの地域でもネットワークの場所をしっかりとって、地域の力で、それこそ市民力で、自分たちの住む地域をよくしていくことが大切だとおもいます。

—— ちゃんぽんミーティングというのが話題になっていましたが、まだつづいていますか。

◆ 毎月一回、公募して希望者から抽選で集まってもらい、ちゃんぽんで昼食しながらいろいろなテーマを話しています。参加費五百円で、いろいろな世代の人がいます。面白いのは、話しているうちに参加者のあいだで化学反応が起きることです。お互いがお互いの話に刺激を受けるんだと思います。

もちろん、プラスの化学反応ですよ（笑）。

—— ちゃんぽんミーティングはこれまで、どんなテーマが。

◆ 第一回は長崎の市の花アジサイの話でした。そのあと、子育ての話や平和問題、そして高齢者の話、商店街の話などに「化学反応」を起こしながら率直な意見交換がなされています。

—— 「しっぽく」ミーティ

『さるく博』の原点は歴史通と町あるきするときの感動です



ングもあるとか。

◆ 市役所職員との昼食時のミーティングを「市つぼく（市らしく）」と洒落たつもりだったんですが、卓袱料理のイメージで受け取られ、ちゃんぽんより豪華な料理で職員たちと市長がミーティングするかのような（笑）受け取られ方をするといけないので、その下に「手弁当」と続けて「市つぼく手弁当会議」としています。

—— 特製チャンポンとでもいえばいいのでは（笑）。

◆ ことしの春にはちゃんぽんミーティングの同窓会をひらきました。それはまさに「特製ちゃんぽんミーティング」と名づけました。いまは、こちらから地域に出かける「ちゃんぽんミーティング出前編」（笑）もはじめました。

◆ ◆ ◆ 二日と二時間の選挙運動で支持してくれた「市民力」

—— さて、そもそもなぜ市長に立候補しようと決意されたのでしょうか。

◆ 伊藤一市長が選挙運動中に銃撃されたニュースを聞いて、いま自分にできることは何だろうと考えました。市民がリーダーを亡くして茫然

とした、思考停止状態の中で次のリーダーを選んではいけない。自分たちのまちは自分たちでよくしようと訴えたくて立候補しました。

—— そこから三日間の選挙戦は、まさに劇的でした。

◆ 正確には二日と二時間です（笑）。立候補に必要な戸籍謄本を五島まで義兄に取りにいつてもらい（笑）、届出が完了したのは締め切り四十分前でした。結果は、九百五十三票差という僅差でしたが、長崎市民のすこさを感じました。

（注）二〇〇七年長崎市長選挙結果
 田上富久（50歳） 78066票
 横尾誠（40歳） 77113票
 山本誠一（71歳） 19189票
 （以下省略）

—— 市長になって個人的な自由度がなくなかったとは思いますが、私生活との区別は？

◆ 市長公舎に移りました。マンションからバス通勤にしようと思ったのですが無理でした（笑）。

◆ ◆ ◆ 「さるく博」の原点は豊富な長崎の歴史物語への「感動」

—— 「さるく博」のことを少しくわしくお聞きしたいの

ですが。そもその発想はなから。

◆ 長崎にはまち歩きがよく似合う、と考えた人は「さるく博」以前にも大勢いたと思います。コンパクトで歴史のあるまちですから。おまけに親切な市民が多い。そういう長崎の「強み」を生かしたということでしょうか。

—— 長崎は物語がたくさん歴史の中につまっていますからね。

◆ 崇福寺にいったときに、大雄宝殿の観音像に内臓がはいっているということを聞いて感動しました。そんなことは歴史をきちんと教えてくれる人がいないとわからないわけです。街角に物語があることを、教えてくれる人と歩くと、きっとみんなが面白がるだろうというのが、「さるく」の原点です。

—— ご自身でガイドをされたのは何回くらいですか。

◆ 統計課時代にボランティアガイドを十七回やりました。駅前に住む若い人たちといっしょに、このコース設定にかかわったものですから、ここは好きなどころですね。まさに、『長崎はローマだった！』というイメージになってきま

—— 歴史はもととお好きですか。

◆ 好きですね。丹羽漢吉という郷土史家の先生の本など読むと面白いエピソードが紹介してあって、ついついひき込まれたり……。

◆ ◆ ◆
ドラッカーから中村天風まで
社会思想家の本を読んできた

—— 市長になる前からの日常では、どんなことが趣味でしたか。

◆ バス通勤でしたから、バスを待っている間とかに空を見るのが好きでした。とくに雲の形には変化があつていいですね。

—— 雲をつかむようなという表現があてはまるのでしょうか（笑）。好きな作家とかは？

◆ ドラッカーの本はよく読みました。時期によってはアイブームがあつて（笑）。安岡正篤（やすおかせいとく）、中村天風（なかむらてんぷう）といった人の本も夢中で読みました。

（注）ドラッカー…（1909～2005）オーストリア生まれの経営学者。ヒトラーのインタビュなどもあり、ナチスに追われるようにアメ

リカに移住。「マネジメント」の発明者といわれる。日本では翻訳書が累計四百万部にも。

・安岡正篤…（1898～1983）大阪市生まれの東洋思想家。戦中から外交政策にかかわり、戦後は歴代首相の施政方針演説を推敲したといわれる。

・中村天風…（1876～1966）東京都生まれながら福岡の親戚で育ち、語学、柔道に秀で、玄洋社頭山満の知遇を得る。戦前は軍事探偵として戦禍をくぐる。独特の東洋哲学を説き、「天風会」主宰者となる。

—— 法学部出身らしい社会思想中心ですね。小説とかはあまりお読みにならない？

◆ 読みますよ。短編が多いですが。中島敦の『山月記』はとくに好きな作品でよく読みました。

—— アイデアが浮かぶとメモを取る報道で見ましたが。

◆ メモは仕事のアイデアとか、思いついた市政のこととか、さまざまです。市の仕事で、こうしたらいいというやり方のヒントなども、結構メモがたまりました。メモはこれからも役にたつてくれると思います。

◆ ◆ ◆
東京の人への注文は「外庄」
外からの刺激を与えてほしい

—— 最後に東京の長崎出身者に対しての注文とか、ありましたらどうぞ。

◆ 私は「五つの市民」のことを考えて仕事したいと思っています。それは、「個々の市民」、「全体の市民」、「未来の市民」、「過去の市民」、そして

「外の市民」です。東京の長崎出身者の皆さんの場合も、「市外に住む長崎市民」として応援してほしいと思います。ふるさと納税にもぜひご協力をお願いします（笑）。

—— しかし、住んでる長崎の人々はどうなりますか。

◆ 先日、長崎ふるさと観光大使になってくれた福山雅治さん（歌手）と話していると、「私は外から長崎のためにできることをやります。でも、長崎の町をよくできるのは長崎に住んでいる人たちなんだからがんばってほしい」といつてくれました。いいこというなあと思いました（笑）。

—— いい町長崎の再生のためにがんばってください。きょうはどうもありがとうございます。（了）



金型用部品・パンチ・ピン

株式会社 **スガモ技研**

代表取締役 **福田邦昭**（平戸市大川原町出身）

〒341-0012 埼玉県三郷市半田1028-4

電話 0489（57）4111（代）

FAX 0489（57）4123

営業
品
目

冷間鍛造パンチピン

モールド型用コアーピン

プレス型用パンチピン

プリント基板金型用パンチピン

その他

「五島列島の芸能」 国立劇場出演を終えて

東京五島会会長・長崎県人クラブ顧問 松原 剛



平成二十年六月二十八日(土)、
第一部(11時〜13時30分)、第二部(14時30分〜17時)の上演でそれは終わった。先ずその内容を掲げておきたい。

第一部

◎ 上五島に伝わる芸能(お話し「上五島の文化を知る」)。民話「白鯨」「鯨唄・羽差踊り」「羽差太鼓」◎ 信仰の島(お話し「上五島の信仰のかたち」)。民話「鯛ノ浦の六人斬り」「讃美歌」「青方念佛踊り」「みんかけ」「獅子舞」

第二部

◎ 五島列島に伝わる神楽(有川神楽・三番、玉之浦神楽・三番、上五島神楽・六番)

最 初に、この計画を知らされたのは、前年の暮れであった。主な上演の当地が上五島であったため、東京五島会の上五島地区、旧五ヶ町の東京ふるさと会は、少々不審と不安はあったものの、全面的に協力しようとして一致した。

三月末に行われた、壮行会名義のリハーサル記録(DVD)が東京にも送られ、それを見た協力者の皆々が様に不安をつのらせた。小学校の学芸会並みだ、三六〇〇円の入場券が売れるだろうか、などとまどったことは事実だ、東京ふるさと会

は、各地区の地元出演団体と綿密な連携をとりはじめた。

地元では出演団体の指導者たちが、稽古を重ね、工夫を凝らせて、かなりの上達をみたと伝えられた。これには国立劇場側の周到な補導があったことを否定できない。

六月はじめ、再度のリハーサルで、東京上演も恥づかしくない出来だ、との声もきこえてきた。劇場の入場券発売窓口にかがうと、地元の買取りもあつて、午前の部80枚位、午後の部130枚位の残券である、とのことの報告であった。80%の入場は保証できたと安堵した。

本番一週間前、東京ふるさと会は最終回の話めの協議をした。130名の上演者の内、40名以上の未成年者もいる。出演者の保護サポーター、観光物産展のサポーター、入場者、終演後の交流会サポーターと、三部門のボランティア活動者は、前日のリハーサルも含め、60名程の協力をえた。

当日、関東一円から五島出身の観客が、開場前からぞくぞくと押し寄せた。久しぶりかあちこちで挨拶の連続だ。入場券の完売も告げられた。

第一部は多彩な演目で、観客は往時を思い出してか拍手を惜しまなかった。第二部も、単調な神楽舞いの連続にもかかわらず、興味津々の顔を多くみだ。筆者の周囲の民族芸能研究者数名も上演意義(島の芸能、国立劇場上演は初めて)と、上出来をほめてくれた。

何よりもうれしかったのは、国立劇場の担当者の多くが、満足した顔で祝福してくれたことだ。永らく民俗芸能の先達として活動してこられた先輩は筆者の手をとって、すばらしかった、とひと言さやいて下さった。

終演後の交流会も去りがたい想いの人々が出演者と、田舎訛でしゃべりあつていた。二百名以上の参加者も、みな達成感と満足感で輝いていた。

翌日曜日、筆者の宅には、ファックスと電話が数多くつながった。みなみな祝福の賛辞であつた。

ふるさとこの当事者と、島外の

ふるさと人の連帯が、このような大成功に及んだ事実の特筆されてよい、と思うものの、両者の献身と犠牲の大きさも課題としては残るだろう。

さらば佐中東京同窓会

佐世保中学東京同窓会
会長 本川 真澄



歴

史の幕を閉じるということは、かくも淋しく、かつ勇気のいることか。

去る五月二十七日、佐世保中学校東京同窓会最後の総会を開き、四十七年間の長い歴史の幕を閉じた。戦前、佐世保の東京支部として活動した時期を加えると七十年近くに及ぶ。

昭和十七年発行の名簿には癌研の田崎勇三氏の名前があり、また、出征中或いは陸軍省、海軍省勤務という方も散見され、戦時色濃いものとなっている。

戦後は、廃墟と化した東京の中、同窓生を探し求めて歩かれた若き野田昌二先輩、柳澤一誠先輩のご苦労、はたまた高度成長の真っ只中、粉骨碎身して会社を支えた先輩たちが年に数度の同窓会に憩いを求め、校歌を、応援歌を合唱した思い出の数々がこの歴史の中に埋まっているのである。

だが、近年は、後輩のいない旧制中学の宿命で会員は年々減

近々催される反省会でその課題を追求し、ますます、ふるさととの絆を固めてゆくことがこれ又在京のふるさと会の課題であらう。

少し、「後期高齢者」の負担も重く、やむなく佐世保の本部が創立百周年でクローズするのに合わせて幕を閉じることとなった。

最後の総会には五十六名の同窓生が集まった。終了後の懇親会では冒頭、佐世保中学校の歴史と佐世保での百周年記念大会の様子が映写され、後継校の佐世保南高、同北高の生徒をまじえた千数百名の校歌大合唱には一同感激の面持ちであった。ここ東京でも南高、北高の同窓会である東京柏葉会、東京北星会の方々が参加、佐世保出張所、佐世保会、長崎県人クラブからの来賓を含め、賑やかな集いになった。佐中の同窓会がなくなっても、こうした形で後輩にバトンタッチが出来る、それは何と素晴らしいことであらう。

佐中東京同窓会を終えるに当たり、これまで多くの方々にご支援を頂いたことに感謝し、最後のご報告といたします

ふるさと

遠めがね

「文化講演録」

新たな国際競争に打ち勝つ
日本のイノベーション戦略

講師 森谷 正規氏

森谷でございます。よろしく
お願いします。

お招きいただきまして、お話を
申し上げますが、少々堅苦しい
演題になっていきますが、難し
い話は特にいたしません。基本
は、日本の技術、製造業はどの
ように強いのか、これからどう
なのかという話でございます。

話のテーマと言いますか焦点
は、今、大変話題になっていま
すが、「日本は経済一流国ではな
い」ということに関してです。
これは大田さん（内閣府特命担
当大臣、経済財政政策）がおっ
しゃった。大田さんとはお互い
若い頃、私よりも若いですけど、
経済企画庁の委員会でご一緒し

たことがございまして、なか
か頭のいい方ですが。経済の中
で一流というのは、日本はやっ
ぱり技術と製造業だと思います
ね。それが本当に一流国ではな
くなったのかということから話
を申し上げたいと思います。

一流国か

私は一流国であると言いたい
わけです。大田さんがおっしゃ
ったのは、2006年の世界の
総所得に占める日本の割合が24
年ぶりに10%を切った、また1
人当たりGDPがOECD加盟
国の中で18位に低下をした、し
たがって、日本はもう経済一流
国とは言えないのではないかと

いう話でございますが、こうい
う数字にあまりこだわらない方
が良いと思います。

GDPに占めるシェアが下が
るのは、インドや中国がどんど
ん発展しますから、日本のシェ
アが下がるのは当然ですね。そ
れから、1人当たりのGDP、
つまり稼ぎ高ですね。これも1
人当たりの稼ぎ高もかなり低下
した。これは、労働生産性が高
いとGDPが上がる、低いと下
がる。日本の製造業の労働生産
性は高い。つまり、1人当たり
車を何台造っているかというこ
とですが、これは高い。

ところが、サービス産業の生
産性が日本は低いですね。米
国の6割、英国の8割です。こ
れは昔からそうですが、例え
ば最近、話題になっているマ
クドナルド。商品が安くて、
賃金が安いと、稼ぎ高は当然
少なくなるわけです。じゃあ、
日本のマクドナルドは不味い
かという、不味くはないで
すね。安くて美味しい。ここ
ろが、店長が管理職で残業代

森谷正規氏のプロフィール

昭和十年吉岐市生まれ。昭和三十五年東京大学工学部卒業、日立造船
入社。昭和四十二年野村総合研究所入社。昭和六十二年 野村総合研
究所を退社、技術評論活動へ。平成元年東京大学先端科学技術センタ
ー客員教授。平成六年放送大学教授。現在、放送大学名誉教授、LC
A大学院大学副学長。政府の「日本の再生」シナリオ検討プロジェクト
チーム委員、NHK放送技術審議会委員、宇宙開発委員会特別委員
も歴任。著作には「IT革命の虚妄」（文芸春秋）、「21世紀の技術と
社会」（朝日新聞社）、「現場の力」（毎日新聞社）、「中国経済 真の実
力」（文芸春秋）など多数。実業界との関わりが強く、特に評価が難
しいとされる先端技術評論には定評がある。雪州会前会長。

をつけず給料が非常に安かった。
だから、生産性があまり高くな
いは確かです。

日本は薄利多売で、安く売る。
給料も安く我慢する。最近
は、また派遣社員が増えて、これが
1人当たりのGDPを低くして
います。何も落ちぶれてきたわ
けではないし、特に製造業は落
ちぶれてきたのではないと私は
言いたいわけです。

しかし、時代の状況は非常に
変わっているのは確かですね。
日本は戦後製造業を発展させて
きたのですが、ピークが70年代、
80年代、この頃は貿易収支の黒
字が1千億ドルで、ほとんど世
界中から稼ぎまくったわけです。
米国も音を上げて、もって製品
を買えと言ったのですが、米国
から買うような製品はないです
ね。アメ車も一時頑張っていま
したけれども、あまり売れませ
んよね。欧州の車はよく売れて
いますが、その頃はほとんど日
本の一人勝ちだったですね。大

抵の貿易商品で日本は強かった。
工業製品で日本が買うようなも
のはあまりなかった。それは韓
国も、まして中国もまだ技術を
持っていない頃ですね。大量生産
に関しては、ともかく日本がほ
とんどのもので強い。

なぜ強かったのか。大量生産
は米国がつくった方式ですね。
T型フォード、自動車です。20
世紀の前半は、大量生産はほと
んど米国だったですね。ところ
が戦後、冷戦が始まって米国は
宇宙開発、軍事技術に金と人を
投入するようになった。テレビ
は日本で高柳健次郎さんが最初
に開発しましたが、戦争が近づ
いてやめちゃって、米国がテレ
ビを実際に商業化しました。R
CAという会社は年配の方はご
存知だと思いますが、戦後しば
らくは神様みたいな会社でした。
ところが、米国人はテレビなん
てもう造らなくなった。開発す
るのは面白くない。宇宙開発を
やる方が面白いわけです。鉄



鋼にも優秀な人が集まらなくなりました。こうして米国は日本の敵ではなくなつたですね。

欧州はどうかと言うと、そもそも階級社会ですから貴族、大富豪が買うような高級製品はすばらしい。大衆のために良い製品を安く造ろうなんていうことは欧州の会社は一生懸命やらない。ところが、戦後、大衆消費社会になって、大衆がどんどんモノを買うようになりました。それは専ら日本が供給をしました。そこで発展したわけですね。そこでみれば恵まれた時代で日本は世界に冠たる工業国になって、一人勝ちを続けたというのが70年代、80年代です。

ところが、90年代に入る頃から、韓国が工業化を進めて、やがて中国が出てきて、インドがこれから出てくるという時代に入つて、こういう国との競争が非常に厳しくなつてきた。労賃が安いですから、ともかく大量生産をやる。米国と欧州は大量生産には力を入れなかった。しかし、韓国、中国、東南アジアは大量生産に力を入れる。だから、日本とまともにぶつかる国が出てきたわけですね。

半導体、その代表がD-RAMというメモリーの種類ですが、これは、日本が80年代に最先端の技術で米国をやつつけたんですよ。その頃から日本は強いと言われた。ところが、90年代に

入つて、韓国のサムスンに抜かれちゃった。なぜか。技術がど

日本に何とか鼻を明かしてやりたいと思いますから、日本が強いものにまともにぶつかつてくる。なぜ半導体の最先端の技術で韓国が力をつけたのか。その製造装置は日本が造つていて、それを日本から買つてくる。これは、半導体の回路の線の幅は、いまや1ナノメートルのとにかく猛烈に細かなもので、これは人間がにつくれるわけではなくて、製造装置が造つてくれる。だから、製造装置を買つてきたら造れるわけですよ。しかも、日本の半導体製造装置メーカーは、韓国の会社でもお客さんですから、聞かれたらノウハウを教えるわけですね。しかもいま、日本の企業の技術者がどんどんサムスンに雇われている。日本で貰つていた給料の2倍、3倍出すから来てくれという。

こうして技術はどんどん流れるんです。ということで、プラズマ、液晶も日本が開発したのですが、製造装置を買つて、素材はみんな日本から買つてくるとできる。しかも、販売は巧みで積極的です。サムスンは、ブランドとしては米国でソニーを抜いたんじゃないか。ということでは負けたわけでありまして、つまり一人勝ちの時代は過ぎました。

国と技術・産業・製品との相性

ここで私は、相性という言葉を出します。技術とか産業に相性があるというのは、皆さん初めて聞いたと思いますが、国によって、この国にはこういう製品、こういう産業は合う。別の国には別の製品が合う。日本は一時期一人勝ちしたのは、全部強かつたようですけど、やっぱり相性があるんですね。その「相性がいい」というのは一体何であるかというのを考えるのが今非常に重要です。日本の相性について、私は3つ挙げております。

1つは、技術蓄積が深くて、それを活かすことができるというものです。半導体とかパソコンは、あまり蓄積が要らないですね。製造装置を買つてくればできる。それから、パソコンも中国がかなり強いんですが、パソコンなんていうのは、本当に頭のいい人がいて、一番肝心な部分はアメリカのインテルから買ってくる。ソフトはビル・ゲイツのマイクロソフトから買ってくる。これを完全に理解して開発設計すれば、ほとんどできる。組み立てるのは簡単至極。だから、深圳とか東莞でパソコンを造るのに、その奥にある四川省から二十歳ぐらいの女の子が来て、1週間か10日訓練した

らちゃんとパソコンができるんです。これは技術蓄積が要らない。蓄積が必要なのは乗用車ですね。これは部品が3万点もある。

それを開発設計するにも「すり合わせ型」という言葉がありまして、すり合わせるように工夫をして考えて造る。ですから、中国で大手は日本、米国、欧州と提携をして、専らおんぶに抱っこで、日本、米国、欧州の技術で造っています。一方、民族系の車の会社もあつて、これが結構、造っているんですが、これは日本の車とは全く競争できない。

パソコンでは、中国の民族系の会社が造っているパソコンと日本のメーカーが造っているパソコンは、基本的に変わらない。联想集団という会社は、IBMからパソコン事業を買ったわけですが、それくらい力がある。車は全然だめです。でも、中国はいろんな人がいますから、小型車で50万円というを買うわけですよ。ガタガタしているけど、ちゃんと動く。このようにまず第1は、技術蓄積が必要であるものに日本は強い。

次は、日本はやっぱりコストが高いですから、高級な高度な製品で日本は強さを発揮するのがこれからですね。テレビは今、薄型のプラズマ、液晶テレビで、日本ではサムスンとかラッキークループとか台湾の製品は売れ

ていませんが、世界ではサムスンがトップに並んでいます。韓国、台湾が強くて、日本のシェアは3〜4割なんです。というのは、高級なテレビってないですね。ソニーの製品は画質が良いとか言っていましたけど、そんなによく分からない。値段が安ければ買うわけです。米国の市場ではサムスンの製品が強い。テレビは高級製品があり得ないので、松下とシャープが頑張っていますが、競争は非常に厳しいということです。

それから3番目は、いろいろな製品の可能性がある分野です。テレビは、大きさが変わるだけであつて、秋葉原へ行つたつて、いろいろなテレビがあるわけじゃないですね。メーカーが違つても製品は同じです。こういうのは韓国などが全力を集中してくと、日本は厳しい。

半導体でもテレビでも負けたのは、日本は大手の電機メーカーが5社も6社も7社もありますね。日本だけが強かつたので良かった頃は、お互いに猛烈に競争して、切磋琢磨して強くなつた。ところが韓国は、サムスンとラッキークループだけ、鉄鋼はポスコだけ。乗用車は現代自動車、韓国が圧倒的に強い。これが実は韓国の集中する強さなんです。日本は分散しているわけで、やられちゃう。ですから、製品が多様である

もの、例えば工作機械は、25年連続して日本は世界でシェアトップです。それから建設機械。これも最近シェアトップになって、日本の建設機械は世界中で売れています。これも機種は非常に多様です。

それからOA機器は結構強い。例えば複写機でも、最近デジタル複写機など1000万円もするものから30万、40万円のものまで、いろいろな製品の幅が非常に広い。そうすると、韓国などは、集中できないわけです。韓国と違う日本の強さは、中堅中小企業が強いことです。いろいろな中堅中小企業が非常にたくさんあって、それぞれが相当な技術力を持っていて、それぞれが多様な製品を作る。これが日本の強さです。

韓国の問題は、中小企業が育たないことです。韓国ではサムスンとラッキークループとポスコと現代自動車と現代重工業、これは造船ではトップで三菱重工もかなわない。この5社しかない。この5社は世界で大活躍していますが、あとは大した会社はない。

比較技術論 コンパラティブテクノロジー



さつき相性と言いましたが、国によって技術は違う。技術なんて、製品なんて、どこで造ったって同じように思われがちで

すが、国によって造る製品は違うというのが比較技術論です。比較文明論とか、比較言語学とか、比較宗教学とかありますね。もちろん国によって言葉は違う。法律も宗教も違う。これはコンパラティブローとか、コンパラティブレビジョンといいます。私は、立派な学問になっております。私は、コンパラティブテクノロジーというのを世界で最初にこいう研究をやるんだと言いついてね。それで、大平正芳記念賞を受賞したわけですが、残念ながら、今でも私一人じゃないかな。これは今、本当に重要ですよ。国によって違うから相性という問題が生じてくるわけですが、日本に本当に相性がいいのは何であるか、力を発揮できるのは何であるか、これは日本には相性がないから、中国などに渡しちゃつていいやと。こういう判断をしないといけないという時代に來ているわけです。

日本が強いものはたくさんあります。まず乗用車ですね。これは非常に深い技術蓄積が必要です。高いスポーツカーは3000万円もして500万、300万円……中国の民族系の車は50万円、最近話題になっているインドのタタがつくる車は30万円。車は高級品があり、大衆車でも、日本の車は高度ですよ。非常に高度なものが造れる。と

いうことで、車は断然強い。

自動車というと、あんまり最先端技術とは思われなかった。工作機械とか建設機械も、技術がそんなにすごいのか？ と思われるかもしれません。1980年の頃ハイテクブームは半導体、コンピュータがその代表であります。機械はローテクだと言われた。しかし、いまやローテクの時代です。ハイテクはむしろ日本に合わないものが少なくない。ローテクが意外に日本には合うし、後から申し上げますが、機械はこれからも伸びるということです。

その一つが乗用車ですが、乗用車は進化する機械です。19世紀の末に生まれて、1908年フォードが有名なT型フォードを造ってこれが量産の始まりです。そこでライン、生産ラインというのが生まれた。それ以来ずうっと進歩してきて、まだこれから進歩しないとイケない。

安全と環境



具体的に言くと、車は大変な課題を抱えているんですね。それは安全と環境です。最近では自動車の死者は年間でかつての1万人から6千人ぐらいに減っていますが、何とかもともと減らしてほしい。それから環境問題で排ガス浄化は相当成果を上げましたが、これから大変なのは地球温暖化ですね。車が走

り回ってCO₂をどんどん出す。これを何とかしないとイケない。それに向けてこれから大変な研究の努力がなされます。安全性は専らエレクトロニクスです。

環境問題は、基本は軽くすることです。ですから、日本の鉄鋼会社が非常に力強いのは、自動車メーカーに、もっと軽くしろ、もっと強くしろと言われて頑張ったからです。これから化学の出番でありまして、日本の化学会社はあんまり強くないんですが、車によって非常に強くなります。自動車は日本の製造業を發展させる原動力になります。これまでは電機産業が先端技術發展の原動力でした。しかし、これからは車の半導体ですね。車にはマイコンといわれている小さな半導体のコンピュータが普通の車では40個ぐらいついています。高級車には100個入っています。ですから、今は日立も東芝も何とかして車に入っていくと一生懸命です。

将来は、バイ・ワイヤという技術がありまして、今、ハンドルを回すと機械的に伝わってタイヤが動きますけど、そのうちハンドルがなくなつて、テレビのゲーム機のコントローラで情報を伝えて車が動く。それくらい、まさに車は進化します。

トヨタが何で強いのか。東大に藤本隆宏さんという親しい人がいますが、この人は自動車産業

論の大家で、モノ造り研究で大変活躍している人ですが、自動車産業の本を書いた中に、トヨタは進化する企業であると言っています。トヨタは現場で問題を解決するばかりでなく問題を探す。普通の会社は、問題はない方がよいと言いますが、トヨタは問題を探し回って解決する。これがトヨタの強さですが、単に問題を解決するばかりではない。時代に応じて發展をする。

それがハイブリッド車ですね。これは日本に向いている技術です。ハイブリッド車は、ガソリンエンジンにモーターとバッテリーを載せて走る。ガソリンエンジンは昔からある。モーターとバッテリーだつて昔からある。昔からあるものを2つ結びつけるだけなんです。ガソリンエンジンは加速するときに燃費が非常に悪い。したがって、加速するときはモーターに加速して貰う。これで燃費が非常に良くなる。しかし、2つのものを載せるのは簡単かと思つたら、これがまた大変難しい。それは載せるだけだったらできますけどね。それを本当にうまく、これをまさにすり合わせるようにして開発・設計をして、しかも、安くしないとイケない。これが日本の強さですね。

これはトヨタの経営の勝利ですね。21世紀の車を考えないとイケない。それはガソリン自動

車ではないだろうと、奥田さんが「じゃ、やる」と決断を下した。それにトヨタの技術陣が猛烈に努力して、ともかく造り上げたということですが、世界中大変なショックを与えたんですね。あんなものを造って売るのが、本気かということだったんですが、それを本気にやっできちゃった。

7、8年ぐらい前、GMとトヨタは仲が良く、GMは燃料電池自動車とハイブリッド車でトヨタと開発提携するという話がありました。そのうちにGMの経営者は、2つ載せるのは不合理だ燃料電池自動車の方が未来の車で良いと、燃料電池自動車の方に傾いたんです。これは10年先でもまだ無理ですね。一台が1億円と言われました。今は1千万円ぐらいに下がっているかもしれないが、1千万の車が売れるはずないですね。これは10年以上先です。それにやっでGMは気がついて、ハイブリッドに力を入れるようになった。

こういう現実的な、いわば妥協の産物のようなものに日本は問題解決、これをトレードオフと言いますが、簡単に言えば「あちら立てれば、こちらが立たず」というのを、本当粘り強く解決していくというのが、日本の強さです。技術はそういうものが結構多いです。特にこれからは多い。革新技術、革新技術

と言うけれども、革新技術はなかなかものにならないということです。

工場の工場

それから、機械に強いという大きなものは、工作機械、建設機械です。20年前、日本は世界の工場だと言われました。いまや世界の工場は中国ですね。日本は「工場の工場」になる、つまり工場に生産設備を供給するのが日本。いくらでもこれから供給するものがありますが、その中心が工作機械です。半導体製造装置だとか、プラズマも液晶も、テレビの製造装置は全部日本が供給するということです。

「第三の波」とか言われて、これからは情報化だ、モノを造るのは大したことはない。そんなことはないですね。やっぱモノを造らなきゃあ。中国もインドも、これからモノが本当に必要なんですね。どんどんモノを造る。そのモノを造る機械を日本は輸出するということです。

エネルギー

それから、エネルギーですね。これから相当に状況が変わると思います。2050年にCO₂を半減するというのは大変なことです。また、2020年の目標もあり、25%減らす。これも大変なことです。あらゆること

をやらないといけない。太陽電池、風力発電、バイオマス、燃料電池、それから原子力発電。

この原子力発電は、日本が強いですね。NHKの「クローズアップ現代」でもやっていました。もともとは米国ですが、米国はスリーマイルアイランド以来、全然新設をやっていませんから、当然ながら力は落ちていきますし、ウエスティングハウスは東芝に買収されました。

GEも日立と一緒にあって、どっちかと言うと日立が主導権を取っているということです。これからはまた原子力の時代で、日本は国内がなかなか難しいですが、世界中に原子力発電のプラントを供給する。日本の役割は非常に大きいと言いうことになります。

太陽光発電は日本が強い。何で強いかというと、経済産業省の役割は大きかったですね。太陽光発電は非常に高い。太陽電池はオイルショックの頃からありました。私は、野村総研の若手の研究員でした。当時、1W3万円していました。1KWで3千万円です。3KWで1億円で、いかにコストを下げるかということをやった。100分の1に下げないといけないという技術は誰もやらないのですが、日本は幸いにして電卓がありました。電卓が太陽電池を使っていました。こ

www.guenbs.com





これは高くてもいい、小さいものですから。だから、電卓用に太陽電池を造りながら開発を進めた。他の国はこれができなかったですね。

これと同じようなことが、これから燃料電池について起きる可能性があります。家庭用燃料電池は、日本は一生懸命やっていますね。何で一生懸命やっているかというと、ガス会社です。皆さん女性の方はお気づきですが、キッチンがガスの領分では無くなってくる。電磁調理

器、電子釜が大きな顔をしています。昔は全部ガスだった。しかも、オール電化マシンのようなものがでてきました。ガス会社は大変な危機感です。何とか電気に攻めようというので燃料電池。これはまだメチャクチャに高い。しかし、家庭用燃料電池の可能性がある。自動車は1億円ですが100KWなんです。

ところが、家庭用の燃料電池は、1KWでいいんです。ですから、高くても何とか使える。これに一生懸命力を入れて、世界で家庭用燃料電池を実用化するのには日本だけでしょね。当分日本がリードします。だから、太陽電池と同じように、燃料電池の時代を開くのに、日本は非常に有利です。

強いものを選ぶ

ということ、技術の話は言っていたら足りないですが、

要するに、日本が力を発揮できるものはたくさんあります。しかし、昔と違って、何でも強いわけではない。強いものを選ぶのはたくさんあるということ、製造業は強い。

では、競争相手のことを少しお話ししますと、韓国は今、申し上げました。比較技術論の話をしましたが、『日本・中国・韓国産業技術比較』を80年に出しまして、これが大平正芳記念賞を受賞したのですが、こんな考え方があるのかと審査員の先生方はびっくりされたと思うんです。

中国・韓国と日本は何が違うか。韓国は中国文明が入っていて、文明的には中国ですね。中国は肉体労働蔑視の国です。国民性を知るのには、いろいろなことわざがあります。それを私は、司馬遼太郎さんとか陳舜臣さんの本などもたくさん読んで知りました。「文章は傾国の大業にして、不朽の盛事なり」。文章を書くということは、国を経営する大きなことで、不朽、腐らない、大変重要なことです。文章を書く、詩を詠む、書を良くする中国の人の字はきれいですね。韓国の人もきれいです。こういう人が偉い人。額に汗して労働するのは下等な人間のやることということです。職人は本当に蔑視されているのです。

だから、韓国に中小企業は育たない。中小企業は工作機械が典型ですが、日本は職人とか技術者が、自分で会社を起こして、社長が油まみれになって会社を發展させる。それが中小企業の始まりですが、韓国はそういうことはやりたがらないし、もしやっても、成功したら、すぐ会社をパツと売っちゃう。そんなことをやっていたら、あまり尊敬されないから、やりたくない。ですから、韓国に老舗がないですね。日本はのれんを大事にする。中国・韓国は知を大事にするんですね。のれんなんてどうでもいい。のれんを大事にする、これはまさに蓄積ですね。

中国は、中小企業は結構あるんです。なぜか、中国は、お金です。ホンダが中国の下請に部品を造らせる。大変厳しい要求を出す。それに何とか応える。これは日本のメーカに部品を納めて成功したらお金が入り儲かる。だから社長は一生懸命です。韓国は上昇志向の強い国です。小さな国ですから、皆、ソウル大学に入って、サムスンに入りたいんです。ところが、皆が行きませんから、韓国で何が起きているかというと、ソウル大学に入れない、うちの子供はそんな素質なさそうだとすると、米国のどんどん行くんです、小学校の頃から。ある本に「キログアップ」という言葉が出ていま

—— 探していた「安心」は、ふるさとにあります。(長崎電気軌道・新中川町電停 徒歩3分) ——
充実した設備と手厚い介護でご家族を支えます。

介護付有料老人ホーム
(一般型特定施設入居者生活介護)

アンムート桜馬場

**24室
(全個室)**

平成19年10月1日オープン【指定特定施設入居者生活介護】

●お問い合わせ・資料請求先

TEL. 095-825-2308 FAX. 095-825-2310

長崎市桜馬場2丁目6-8 受付時間/9:00~17:00

【ホームページ】

<http://kaigonoanmut.jp/>

詳細は、Yahoo!セカンドライフからもご覧いただけます。

入居者募集

した。小学生ですから、米国に母親と一緒に行くんです。ですから、旦那は休みになると、アメリカに行くんだそうです。キログリというのは雁です。アッパがお父さんと飛んでいくんですね。韓国は外への志向が非常に強いですね。日本はちょっと内への志向が強過ぎる。外への志向が日本は最近弱過ぎるんじゃないか。これはちょっと問題ですがね。両方を足して割ったらいと思うんですけど。韓国は外への志向が強い。

これからはBRICsと言われるね。伸びるのはブラジル、ロシア、インド、チャイナ（中国）と。米国のある証券会社がBRICsと言った。これはそれぞれ非常に違います。ロシアは、製造業はだめですね。ソ連の時代に車もテレビも造っていました。しかし、昔は住宅で火事を起こすと、テレビが火を吹いたからと。車もひどいものでロシアになって輸入が始まるとあつという間につぶれちゃいました。ロシアがだめなのは、天然ガスと石油がいくらでもあつて、どんどん金が入ってくる。工業を発展させるためには輸入代替でありまして、けど製品はもっとほしいと。輸入する金はない。じゃあ、国内で造ろうかと。ロシアは、そういうことにならないうです。金はいくらでもある。ただ、その金が大衆ま

でどう回るとかというのがある一つよくわからない面がありますが。トヨタもロシアで工場をつくっています。今は、大変苦勞しているようです。まじめにやる気がない。

ブラジルは米国の近くで、しかも市場がありますから、ブラジルはまあまあ頑張ると思います。

インドはどうかというと、インドと中国はいろいろな面で非常に違うという話をします。中国の次はインドということですが、まずは教育水準、あるいは民度というか生活水準がかなり違いますね。中国は「孟母三遷」の国でもありますし、学習意欲が大衆まで強い。それはやっぱり働きたい、金儲けをしたいためでもある。

インドは英国の統治がありまして、インドという広い国をそれぞれ分割統治したわけですが、言葉はバラバラ、農村は孤立しています。あんまり向上意欲はない。それに、あいう悠久の国ですからね、金のためにあくせくする、猛烈に働いて偉くなろうという人はいるんでしょけれども、層が中国とはだいぶ違う。現に、就学率は、小学校・中学校・高校もやっぱりだいぶ低い。中国も今は格差社会になっていますが、インドはもつと格差社会ですね。富豪は大変なものです。

一番新しいニュース。タタという財閥がありますが、ジャガーを買うんですね。それから、ミタルという鉄鋼会社は欧州のアルセロールという断然トップの鉄鋼会社を買いました。マハラジャは本当に大富豪ですね。一方でボンベイ辺りでは、私はインドを嫌いで行ったことがないのですが、街にホームレスがわんさという。これは労働力に足りないですね。

中国は、深圳、東莞辺りは、四川省辺りから若い女の子がやって来て、都市戸籍と農村戸籍を区分していますから、都市に居つけない。いずれ帰る。3、4年一生懸命働いて、せっせつとお金を送って、帰ったら家が建つという……。こういう家かわかりませんが、そういう家ぐらい。だから一生懸命働くんです。

インドは、例えば大富豪の周辺に浮浪者がたくさんいる。なぜか。大富豪が議員に立候補すると、全部呼んできて、選挙権を与えて、自分に投票させる。あとは放ったらかしというのがあるようです。これは一家で来ますが、労働力にならないですね。ただ、労働力という面では、技術者クラスはインドの方が良いのかなという面もあるようです。ソフトウェア産業が大発展しました。これでインド、：：となりますが、ソフトウェア

で発展しても、インドのような大国が経済発展するわけではないです。それはソフトを作ったって大した金額じゃない。やっぱモノを造らなければいけない。しかも、大量に売れる電気製品ですね。中国はほとんど電気製品を造りました。だから、中国は発展した。電気製品を造るのは単純労働者、これは中国に比べてインドははるかに劣る。ところが、大卒が行くところは、大学出て、産業がありませんから、仕事がないわけでソフトウェアに集まります。

ソフトウェア産業はインドに相性が良いんです。なぜかというと、インド人はシリコンバレーにたくさん行っている。そういう人がソフトを発注してくる。それからインド人は英語ができますが、もつともこれは一部です。全員できるわけじゃない。労働者のレベルではできない。公立に行っていたら、英語はとんでもない。私立に行ったら、英語もちゃんとやってくれる。大学に行く者は英語を喋る。そこで、米国からほとんど発注できるわけ。それから、ソフトウェアは発注も、製品を受け取るのも、通信を介してできるわけですから。

インドは道路が悪くて、これがインドと中国の違いで、こういう面から見えないといけない。インド人は、我々は民主主義国

家で、民主主義国家の方が優れている。中国は独裁強権国家である。だから、いずれ我々は中国を抜く。ところが、そうではないですね。極めて単純な話ですが、インドでは道路ができません。中国は強権国家ですから、いろいろ問題を起こしています。が、「どけえーっ」と言っていて、あつという間に日本の何倍の高速道路を造った。電気産業はネットワークですよ。深圳、東莞は7万社ありましてね。部品の流通ですよ。道路がないとできない。これはインドではできません。ですから、工業の発展段階は、強権国家の方が発展をする。

民主主義国家は発展するのに不利である。こういう現実がある。朝日新聞はこんなことは絶対言いませんね（笑）。民主主義国家が良いに決まっています。しかし、現実はまだしくそれが冷酷な事実なんです。ですから、インドはやっぱりちよつとのんびりやっていたらいいんじゃないでしょうか。インドまで猛烈に走り出したら、この国は産児制限していませんから、いづれ中国を抜くわけですからね。あまり発展してくれない方がいいんじゃないかと。という勝手な話で、ちよつど時間ですから、これで終わります。ご清聴ありがとうございました。（拍手）

むぎ焼酎壱岐が健闘 全日本綱引選手権 十五年連続出場を期す



綱引き——古くは日本の伝統神事として豊凶作占いなどに営まれてきた。さらには村祭りや運動会に欠かせない行事でもあった。町内や集落対抗での綱引きに血潮をたぎらせた御仁も多いのではなからうか。

そんな伝統を今に伝える全日本綱引選手権大会が今年も三月十六日、千葉市の千葉ポートアリーナで開かれた。全国都道府県代表四十二チームと推薦・特別予選会の計七十二チームが参加。長崎県代表は今年で十四年連続出場を誇る「むぎ焼酎壱岐遠山の金さん」チーム（玄海酒造後援）である。

十四年連続の県代表はまさに快挙。大会出場に先立って玄海

酒造の山内賢明社長（東京雪州会会長）は同チーム代表者を同道して県庁に金子知事を表敬訪問し、健闘を誓った。

大会当日は壱岐出身者の関東地区親睦団体である東京雪州会から約六十名、さらに長崎県人クラブや長崎県人会の方々など大勢の皆さんが応援に駆けつけた。

成績は今回も健闘むなしく決勝トーナメント進出は成らず。しかし壱岐特産の麦焼酎をおおりにながらの応援は他の応援団を圧倒する熱気振りで「応援は日本一」の声も飛ぶほど。応援を通じて我々等「壱岐魂」が房総の地で大いに高揚し、壱岐の心意気を示した。応援の熱気は止まず、二次会でも「再点火」したのは言うまでもない。

山内社長は「今年は来年に向けてのいわば前哨戦。十五年連続の来年こそは決勝トーナメント進出をかけて頑張りたい」と力強く宣言した。

なお中曽根弘文・大会会長（元文部大臣）は開会式で「この綱引競技がオリンピック種目に復活・採用されるよう働きかけている」と挨拶、将来オリンピック競技への採用に期待をにじませた。

応援いただいた県人クラブや県人会の方々に御礼申し上げます。
東京雪州会副会長兼幹事長 牧山康敏

猶興館高校同窓会東京支部 平成20年度総会開く

五月一七日支部総会が、会員にすっかり馴染みになった虎ノ門パストラルで開催された。

昨年は史上かつてない「鎮信流茶会」の会で物珍しさもあり、260名の出席を得たが、今年は特別なイベントもなかったのに反し、255名と予想以上の出席となった。今年は支部役員全員が任期満了の改選の総会であるが審議は原案通り可決された。

また、平戸の松浦藩邸の松浦史料博物館（日本初の私立博物館）の詳細な説明、同窓生で初の映画監督デビューを果たす瀬戸氏より説明、アトラクション

は同窓生松口さんの日本で歌い続けられている懐かしい歌の



数々が披露され、澄み切った声に場内が一瞬静まる一幕も。これで同窓生から3人目の音楽活動家がメジャーを目指して活動中である。

郷土物産販売もすべて完売。一日で80万円の盛商。メは旧中学、女学校の校歌声唱として現新制高校校歌の大合唱で若さと感動に満ち溢れた会も終了。お互いに来年の再会を誓い合い、同期のみの二次会へと散っていった。これも偏に当番学年（四十九年卒）の努力と支部会員の協力の賜物と感謝する次第。以上報告を致します。

前田昭夫

長崎県人クラブ 第三十七回定時総会開催 副理事長に原田泳幸氏

長崎県人クラブは五月二十八日、第三十七回の定期総会を開催しました。

第一号議案 平成十九年度 事業報告

第二号議案 平成十九年度 収支決算（案）

第三号議案 平成二十年度 事業計画（案）

第四号議案 平成二十年度 収支予算（案）

第五号議案 役員改選（案）

上記議案が採択され、本年度の運営方針が決まりました。新任の役員は左記のとおりです。

副理事長 原田 泳幸氏
理事 田平 和彦氏

木下 通人氏
男澤 浩一氏

総会終了後、懇親会を行いました。



議長を務める田崎理事長

平成20年佐世保商業高等学校同窓会東京支部の集い

第49回長崎県立佐世保商業高等学校同窓会東京支部の集いは

6月29日(日)のお昼時に、大江戸深川の歴史ある清澄庭園の大正館で開催しました。

清澄庭園は、明治11年に三菱の岩崎弥太郎が贅を尽くし、三万坪の回遊式築山水庭園に造成したもので、都心に在りながら京都の大徳寺や竜安寺を彷彿させる大変環境に恵まれた閑静な庭園です。

佐世保から江原同窓会会長、中野学校長、また岩永佐世保市東京事務所副長にもご臨席賜りました。佐世保や関西地区から

の特別参加者もあり、総勢90名が集まりました。

庭園ガイドさんに素晴らしい庭園の説明と散策案内をお願いし、場所柄に合わせた和田顧問の奥様の吟詠・吟舞、30回生の川口さんの舞踊などのイベントで大盛況でした。

恒例の卒業50周年を迎えられた30回生10名の方々に記念品贈呈も行い、最後は皆さんで校歌を斉唱して、歴史と芸術文化を堪能していただいた集いでした。

同窓会東京支部長 大久保三郎



第42回関東口加会を開催 新会長に松本政博さん

六月二十八日(土) 第四二回関東口加会が霞ヶ関ビル33階にある東海大学校友会館で開催されました。参加数は108名(男性75名、女性33名)。

吉田本部同窓会長が健康上の理由から突然辞任され、新会長に松本政博さん(S42卒、加津佐町出身)が就任されました。本部からは、吉川校長、松本会長、林田副会長、林田顧問の4名が参加。来賓も例年通り、久間代議士(S34卒)、各支部の

役員、島原半島関係の高校同窓会役員の方にもご臨席賜り、花を添えていただきました。

参加者の平均年齢が62・3歳となり、年々高齢化することにより、今年は着席ビュッフェスタイルとしたところ、「立っているのが疲れる?」という方もなく、いつもより活動的で盛り上がった同窓会だった気がします。

今年のコンセプトは「学校の教室」としたこともあり、長テ

ーブルに椅子席という母校の教室を連想させる会場設定としたところ、例年より話も弾み、和気あいあいとした、高校時代にタイムスリップした心地よい雰囲気だったような気がします。若い方の参加が厳しい状況もあり、平均年齢も上がっていくことを考慮すると、着席の方が参加数も増えると思われるので今後も着席buffet形式としたい。沢山の方々のご参加をお待ちしています。

関東口加会事務局長 平野康博
(S43卒、雲仙市南串山出身)

長商同窓会関東支部総会開く 大町武俊新支部長のもと和気藹々

長商同窓会関東支部は、大町武俊(新制15回)が今年新たに支部長に就任した最初の総会で、平成二〇年五月二十四日(土)

午後一時から恵比寿ガーデンプレイス38階「きらら」で開催されました。

本部から高尾勝昭副会長(新制1回)と吉田功常任理事(新制13回)、母校からはこの四月に着任された真木正英校長、その他来賓として神近宣博長崎市東京事務所長、中西諄ビードロ会長、藤島満年長崎県人クラブ常務理事はじめ、在京長崎市各高校の代表者等24名と支部会員46名、計70名が参加しました。

近藤繁廣副支部長(新制15回)の司会で開会が宣言され、まずこの1年間で物故者となられた支部会員10名のご冥福を祈って黙祷がなされました。

大町支部長の挨拶、総会報告、来賓紹介の後、本部副会長の高尾勝昭氏、真木校長の挨拶が続き、福本吉郎前支部長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

会の開始と前後して降り始めた雨のために、38階からの眺望は好天だと西に丹沢山塊や富士山、北に都庁舎や新宿の高層群、さらに遠方に池袋サンシャインと関東平野の北西半分が見下ろされ、料理に一味追加されるの

ですが、残念ながら煙ってしまいました。

余興として、藤田新さん、麻生真花さん、長崎市出身の西森みわさんの歌謡ショーを行ないました。和気藹々の中で、在京各高校同窓会から寄贈された品物や藤田新さんご提供の四谷「とき和」の招待券などの当たる抽選会を行った。

最後に新旧の校歌を声高らかに合唱し、緒方仁副支部長(新制15回生)の関東一本メでお開きとなり、参加者全員を写真撮影して無事閉会となりました。

伊藤六夫(新制18回生)





新年賀詞交歓会 同郷人が本音で歓談 当クラブ新年会盛大に

「今年はどんな一年になるだろう？」
—— 混迷と激動の時代、人々は期待と不安を胸に新しい年を迎えたのではないか。そんな中で開かれた長崎県人クラブの平成二十年新年賀詞交歓会。一月二十四日夕、来賓も含め約百十五人が東京のホテル・オークラに集まった。
同郷の集いとあってお互い本音で胸襟を開いての歓談。終始和やかな雰囲気にも包まれた。会員外の人にも誘われて多数参加。また県選出の国会議員も国会会期中ながら数名が駆けつけ、郷土の話に耳を傾けた。

歌手・渡海千津子さん（大村市出身）の熱唱の後は恒例の福引抽選会。県内各界から寄せられた約三十点に及ぶ郷里の賞品に期待を込めるも、当たり外れの泣き笑い。

ところで今年も既に半年が経過した。国会はねじれて機能不全。日銀総裁人事さえままならぬテイタラク。ガソリン価格はこのところ上がる一方だ。原油は高騰、食材など値上げの嵐。地球温暖化で桜前線は予想より早く超特急で列島縦断。その気候変動を主要議題とする北海道洞爺湖サミットは七月七、九日に開催された。結果をどう評価するか。

さて今年後半の展開は？

—— 結局、頼りは我が県人クラブの団結あるのみ!! 当会理事 牧山康敏



長崎ビードロ会主催 ハタ揚げ大会に 500人余りが参加

四月二十九日（昭和の日）に初夏のまぶしい日差しの中で恒例の長崎ビードロ会主催のハタ揚げ大会が東京・大田区多摩川緑地公園にて開催された。ここ数年続いている好天のためか、五百人余の方々の参加があった。

市内高校の在京同窓会が中心となつて幟をたてたり、横断幕を掲げて賑やかさに花を添えた。今年も壱岐出身者からなる東京雪州会の方々と大村、島原、五島など県内各地出身の方々もお見えになり、さながら屋外の同窓会の様相であった。売店では郷里の名物・名産が並び、完売したと聞く。

緑の軟らかい草の上に寝転んで、川風に吹かれて舞い上がるハタをのんびり眺めていると故郷の山々が思い出される一日でした。

内堀勝之



恒例のうまか市 シスターもお買い物！

平成二〇年三月八日（土）
恒例の「長崎うまか市」が四谷の長崎県東京産業支援センターで開催された。
当日は朝十時、開店前から行列ができていた。長崎県各地の旬の農産物や海の幸を求めて、東京近郊から家族で、リュックに一杯の買い出し風もあった。

近くの教会のシスターも二人連れで、今回は真っ赤な完熟トマト「原城トマト」を箱で求めたとのこと。歌舞伎町から来たと言うママ風な女性が二万円分も買ったと大きなバッグを持って四谷三丁目の方へ。
南島原市から、「お客のニーズを知る」ためにと、真っ赤な法被青年の笑顔がとても素敵だった。旬の物が手軽に手に入り、ちよっぴり安くて、デパ地下にはない物があればお客は喜ぶと思う。

宅島正二



「素敵な出会いと縁を大切に」 平戸高校同窓会 東京首都圏支部総会



六月八日（日）、平戸高校同窓会東京首都圏支部総会が新宿の日本出版クラブ会館で開催されました。長崎からは、平賀校長先生ご退職の後、着任した私一名が出席しました。その挨拶で、本校の特色ある教育「ふるさと伝承運動」による、ふるさとを愛する教育。陸上部の個人で北九州大会出場。今年から一学年八十名に定員減したことなど近況報告をしました。

そして、この定員減により、学校統廃合も考えられるので、存続にむけて地元関係者はもちろん、当支部同窓会にもご支援をお願いしました。それに対して加藤澄敏当支部会長、前田昭夫猶興館高校同窓会東京支部会長、森利範松浦高校同窓会関東支部事務局長、上野實東京・平戸北松会会長、立木啓二前東京・平戸北松会会長、他同窓生の方々に温かい励ましをいただきました。この素敵な「出会い」に同じ母校を思う熱き思いを感じ、この「縁」に勇気をいただき、感謝の気持ちで帰途につきました。

平戸高等学校長 林禮一郎

平成20年度東京対馬会 定期総会・懇親会盛會に

平成20年度東京対馬会定期総会・懇親会は5月25日(日)にアルカディア市ヶ谷(私学会館)に於いて開催。当日は郷土対馬市から財部能成市長、波田政和对馬市議会議長、池松誠二対馬地方局長などのご来賓を始め、60名を超える会員の参加で開催。総会に先立ち平間好人常任幹事より『ようこそ東京対馬会へ』と対馬会の取り組みの現状と『世界遺産登録へのこれまでの動き』などのプレゼンテーションで幕開けした。

総会での森会長の挨拶は「東京対馬会はその前身の『対陽塾』創立から来年は百周年を迎える歴史ある在京の親睦団体である」と強調。新会長に中庭敏氏を全員異議なく承認し年度をスタートした。アトラクションでは音楽で活躍中の「Hi-CIass」、吉本興業のタレント「フレンチブルドッグ」などの対馬出身の若者の演奏やトークなど、フレッシュな仲間の活動

第36回長崎東高在京同窓会報告 盛會のうちに終了

危ぶまれた天候も、我々に味方し絶好の総会日和となり会場は昨年に引き続き平成20年7月5日(土) 虎ノ門 パストラルホテル 鳳凰の間で13時スタート。

母校から米倉校長以下3名の先生方。また長崎市東京事務所の新近所長、長崎県人クラブから藤島事務局長、長崎西高、南高、北高、長崎工業、東京海星会の役員の皆様のご出席を賜り、しばし歓談のときを過ごしていただきました。

今年は母校の創立60周年を迎え在京同窓会から母校へ紅梅、白梅を記念植樹として贈呈することを決定、お蔭様で募金額も目標を三割強増え、同窓生の協力に大変感謝している次第です。

二代目校長の梅田倫平先生の「梅は梅、桜は桜」の言葉にふさわしく、学生諸君に伝わり続くことを願っています。

在京同窓会のシンボルとなりつつあります、じゃおどりの「東龍倶楽部」の技量も年々向上し、今年は東高カラーのベストとTシャツを新調、意気込みもなかなかのものを感ぜさせました。



東京対馬会幹事長 糸瀬敬一
ぶりに会員から大きな拍手がおり、盛會裏に総会・懇親会は終了した。

した。一般参加による演舞(?)も好評でした。

締めは応援団OBの久々の登場。エールの後、声高らかに校歌を斉唱し15時30分閉会となりました。

在京同窓会 会長 下田浩六



長崎ビードロ会(長崎市人会) 総会開かれる

去る六月一九日(木) 田町の「笹川記念会館」で、運営メンバーが在京同窓会七校体制になつて、五年ぶりに開催されました。



開会に当たり、中西会長から「長崎ビードロ会」は「ハタ上げ大会」を毎年実施しているが、「長崎市人会」である事の知名度が低いので、長崎市人会で有ることをもっとアピールして行きたいと、また五年に一度は長いので、四年に一度として「長崎県人会」の当番年次に開催すること等の挨拶の他、田上長崎市長からの、お祝いのメッセージが神近長崎市東京事務所長により代読されました。

ご来賓として、国會議員四名、国會議員代理三名、長崎県下各地区会長・幹事長、各市東京事務所長等三十余名の方にお出で頂き、お祝いの挨拶等を頂戴し、総会を盛り上げていただきました。

メンバーとしては長崎東高校・西高校・南高校・北高校・商業高校・工業高校・海星高校の七校の他、南山高校・青雲高校・活水高校・玉成高校(旧玉木)・長崎女子高校からも在京者が参加して、総勢百五十余名という規模となりました。

懇親の合間には、長崎西高校

卒業の「江戸賀 あい子」さんのエレクトーン伴奏による懐かしい歌の出演があり、また、飛び入りで、島原半島会出身の「西森 みわ」さんの新曲「長崎の雨」のご披露ありで、会場をより華やかなものにして頂きました。

南山高校・青雲高校が在京同窓会を結成されたと伺っており、ますので、長崎ビードロ会(長崎市人会)の運営メンバーに加わって頂き、毎年の「ハタ揚げ大会」等これからお手伝い頂けるのではないかと、期待しております。

中締めは松山副会長にお願いし、十月十日の「長崎県人会」での再会を約束して閉会いたしました。

小柳哲敬

東京石城会（五島高校関東地区同窓会）総会を開催



今年も去る6月14日（土）、東京石城会総会及び懇親会をホテルグランドパレスに於いて、来賓、会員合わせ183名の参加を得て開催された。

例年の通り、物故者への黙祷をおこない、今村会長の挨拶で新執行部初の総会が開始された。

総会は来賓の紹介と続き、代表としての全国石城会立本会長の挨拶、田川現校長からは母校在校生徒のスポーツでの活躍、勉学では国公立大学への多数合

格や来年度のセンター試験が母校で受験できること等の報告がなされた。

恒例の80歳以上の出席者表彰では前年7名に対して今年は2名の方に記念品が贈呈されて、会場からの祝福を受けた。出席者の数を競う出席者優秀学年表彰では、還暦を迎えた今村会長（19回卒）の学年が18名で第1位となり、9回卒の15名、6回卒の12名と続いた。

今回は、30歳以下を半額として学生は無料としたため若い人の出席が増え、高橋副会長より、その内の最年少の現役大学生3名が紹介され、大歓迎された。

久保幹事長の会計報告、又野監査役の監査報告を終え、乾杯となったが、今年は最高齢出席者となった名誉会長の山田伊佐雄様が指名され、元気な「カンバイ」の発声で、懇親会が始まった。

懇親会では、前年に一番若い出席者で乾杯の発声された、川元弓子（サージェン）さんが先月発売したCDを中心にダンサー二人を従えたミニライブ、五島つばきさんも昨年暮れに発売した新曲「與七（よしち）」を含めて3曲のミニライブをおこなった。その後飛び入りで五島市出身の時津風親方も懇親会に

参加者763名と大盛況 関東島原半島会60周年記念大会

創立60年の節目となる今年は「関東島原半島会創立60周年記念大会」と称し、キャッチフレーズを「ありがとうふるさと魅せます60年の底力」として開催したところ763名の参加があり大盛況の記念大会であった。700名を超えるパーティにはあまり出くわしたことがない。

今回のコンセプトは、地元島原産食材を利用、島原出身者によるイベントなど、「地元島原」にこだわった。牛肉、豚肉、鶏肉、卵、野菜などの食材に限らず飾花までトコトン島原にこだ

わり、会場を地元産で埋め尽くした結果、「雲仙牛ってこんなに美味しいの?」、「本マグロって最高だね」とか、とにかくすべての料理に満足した、感動したという声がほとんどだった。勿論、料理は東京プリンスホテル柘植総料理長（南島原市出身）の特製である。マグロ解体ショー、深江太鼓、ミニライブ、ロクベエの模擬店、鏡開き、会旗披露、抽選会すべてが島原半島に関するイベントにした。それから、5個のブースを設け、島原市、雲仙市、南島原市、東映、島鉄

関係に展示を依頼したところ、特に3市は武者姿、法被姿、観光大使同伴など様々な工夫を凝らした展示会となり、参加者も興味津々といった雰囲気だった。とにかく様々な趣向を凝らしてイベントはヒートアップしたまま延々と続いた。また、会員の外に、同伴者140名、地元からの参加110名となり、同伴者および地元からの参加が多かったのは今回の特徴であり、地元との絆が少し深まったのではない。

創立60周年ということ、人間で言えば還暦の年齢である。還暦の記念大会に763名が参加したということは、これはも

う紛れもなく歴史に残る大会となった。

ケーブルテレビジョン島原（清水専務）による生中継も前代未聞であった。（現在でもストローミング再放送中なのでインターネットから見ることができる。）

ご支援ご協力いただいた全ての方々に心から感謝申し上げます。

本当に有難うございました。
関東島原半島会

事務局長 平野康博
（雲仙市南串山町出身）

参加し、おおいに盛り上がった。役員有志提供の景品の抽選会も会長の呼びかけにより沢山の景品が集まった。

三校（旧制五島中学校・旧制五島高等女学校・五島高校）の校歌斉唱も、今年初めて五高女の参加がありませんでしたが、校歌を知の方4名で代唱、例年にも勝る熱気に包まれた。

万歳三唱の後、最後に司会者（31回卒）北川昇次郎さんと（32回卒）山際太美子さんが「今後も諸先輩のご指導を頂きながら、この東京石城会の発展に努めて参りたいと思いますので、ご指導のほど宜しくお願い致します」と新執行部での初めての総会を締めくくった。

1976年卒（28回）

幹事長 久保一夫



長崎関連イベント予告

地区・開催名	会長・理事長名	日時	場所	問い合わせ先(電話)
県人クラブ納涼親睦会	田崎 俊作	平成二〇年七月二五日(金) 十八時三〇分より	浜松町東京會館	長崎県人クラブ 〇三(五三六六)四八八八
県人クラブ賀詞交歓会	田崎 俊作	平成二一年一月二九日(木) 十八時三〇分より	ホテルオークラ	長崎県人クラブ 〇三(五三六六)四八八八
長崎北高同窓会	中村 成治	平成二〇年十一月一日(土) 十四時〜十六時	笹川記念会館	中村 成治 〇九〇(三〇四七)七一六一
東京支部総会懇親会	中西 俊雄	平成二〇年十一月十五日(土) 十八時より	ホテルニューオータニ	中西 俊雄 〇三(五六二二)七一四
東京海星会総会	木下 通人	平成二〇年十月十八日(土)	アルカディア市谷	福田 俊男
大村高校東京同窓会	小野 寿幸	平成二〇年十一月十二日(水) 十八時三〇分より	ハイアット リーゼンシー東京	佐世保市東京事務所 〇三(三三七〇)一六〇〇
東京佐世保会	村田 輝夫	平成二〇年十月十八日(土)	グラントプリンス ホテル赤坂	村田 輝夫
長崎西高在京同窓会	山内 賢明	平成二〇年十月二六日(日) 十二時より	東京プリンスホテル	雪州会事務局 〇四二(四八六)四七〇六
東京雪州会総会	上野 實	平成二〇年十一月二九日(土) 十三時より	グラントプリンス ホテル赤坂	久保田辰輔 〇三(三二九四)五二二四
東京・平戸北松会総会	松原 剛	平成二〇年十一月二八日(土) 十八時三〇分より	日本工業倶楽部	五島会事務局 〇三(三五六三)六〇一八
東京五島会総会	本田 武利	平成二〇年十一月八日(土)	ホテルニューオータニ	
長崎工業高校 関東支部同窓会総会	相川賢太郎	平成二〇年十月十日(金) 十八時三〇分〜二〇時三〇分	東京プリンスホテル	長崎県東京事務所 〇三(五二二二)九〇二五
長崎県人会				

お悔やみ

●野田 昌二氏を偲んで

(元当務理事)



当クラブの長老野田昌二氏が、三月十六日、九十二歳で亡くなりました。

昭和四十六年の当クラブ創立時より、役員としてかわり、クラブを愛してやまなかった氏は常にクラブの歴史の中心に居ました。

今里広記初代理事長亡き後、銀座での存続が危ぶまれたとき、二代目理事長を引き受けて下さった宮崎輝氏(当時旭化成社長)に対し、拠出金のことので役かたり、自らも応分の協力を惜しみませんでした。

出身が佐世保とあって佐世保会、旧制佐世保中学同窓会などの会合によく出席され、普段もクラブにぶらりと現れ、アルコール好きで話し好きの性格は初めて

会った人にもビールを勧め、博識で記憶力抜群の熱弁をふるっていました。

正義感の強い方で「俺は本当のことが知りたいのだ」が口癖でした。なかなかダンディで愛用のベレー帽が良く似合

い、クラブでは有名人でした。そんな野田氏が、銀座の女性占師に九十歳まで生きるといわれたといつて満更でもなさそうに笑っていた顔が目につか

びます。あちらでも、お先に逝かれた皆さんにビール片手に遅れて仲間入りした弁でも語っておられるでしょうか。

ご冥福をお祈り申し上げます。

事務局 鐘ヶ江貞子

創業嘉永2年
(西暦1849年)

横尾石材工業(有)

御愛顧を受けて
160年

- ・お墓の清掃
 - ・お墓のリフォーム 等
- お墓に関することは何でもご用命下さい。
- 見積もりは無料です

ふるさとの国宝興福寺に
お墓を持ちませんか?
新墓地分譲中です。

価格は永代使用权、墓石一式、納骨室、外柵全て込みで300万円よりです。

〒850-0871 長崎市麴屋町6-15
TEL 095-822-5718
FAX 095-823-9038
Mail: info@yokooszekizai.jp
ホームページhttp://yokooszekizai.jp
横尾石材工業有限会社
代表取締役 横尾 寛

新刊紹介

長崎新聞社刊 のぞむのりこ著

長崎に来ちゃった!②

定価 一〇〇〇円(税込)



栃木県出身の著者が長崎出身の人と結婚し、長崎に住んで3年たちました。関東と長崎は距離的に千キロ以上は離れています、その距離感以上の地域差をまざまざと感じさせる本です。「じげもん」にとっては別に気にしないことを、この遠来のかたは異国に来たかのような眼で見えています。確か1巻目でしたか、著者が買い物をしているとき、他の客が店主に品物を指差して「あいばくれんね」といっているのを聞いて、長崎人にはすぐ分かる言葉ですが、著者には「愛を売ってください」と聞こえたようです。ほんに面白きはなしです。長崎の食べ物、生活、文化などの特徴がほのほのと書かれています。

岩波書店刊 原田博二著

長崎

南蛮文化のまちを歩こう

定価 一〇三〇円(税込)



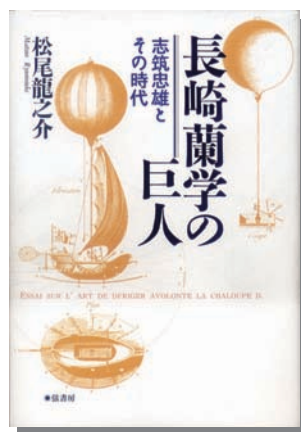
長崎の街めぐりのガイドです。1570(元亀元)年の開港以来、長崎の貿易相手となったポルトガル、オランダ、中国さらにイギリス、ロシアなどいろいろな国の文化が長崎に入ってきました。本書はまさにちゃんぽんのような文化を有する長崎の街を時代順にたどり、それぞれの時代の特徴を地図や写真で分かりやすく解説してあります。評者の実家の近くに銭座小学校と天満宮(天神)がありますが、この本では地名を浦上街道に沿った馬込銭座と記してあります。明治41年生まれの親父の話では地名を「のみがはた(飲みが端?)」と言っていました。街道を往来する馬に水などを与えていた場所でしょうか。今でも井戸が街道沿いにあるはずです。この本を持って長崎の街をぶらりと「さるく」と楽しさが倍增するでしょう。

弦書房刊 松尾龍之介著

長崎蘭学の巨人

志筑忠雄とその時代

定価 一九〇〇円(税抜)



皆さんは中学、高校の物理、化学の授業で「真空」、「重力」、「加速度」などの用語を眼にしたでしょう。実は、そういう訳語は江戸時代、長崎出島でオランダ通詞であった志筑忠雄(しづきただお)によって創られたのです。通称忠次郎。二十二歳のとき、いわゆるトリチェリの実験を試み、大気圧、真空の状態を確認。1782(天明二)年には英国人ジョン・ケイルの手になる「真の物理学並びに天文学入門」(1741)を読み、「引力」、「浮力」、「遠心力」などの「力学」に関する言葉や「地動説」、「天動説」、「楕円」、「衛星」などの天文学に関する言葉を訳出しました。1801年、忠次郎はケンペル著の中の「もつとも理由のある日本の鎖国」という箇所を訳出し、それを《鎖国論》と題しました。その他に「形容詞」、「副詞」などの文法上の言葉も訳出しています。本書には1806(文化三)年に亡くなるまでの生涯を

「気球伝来」という視野から、かれのやり遂げた仕事について書かれています。

長崎文献社刊 水越武著

水越武写真集

対馬 照葉樹林の四季

定価 二九四〇円(税込)



対馬の照葉樹林は世界遺産クラスである。森林撮影の第一人者水越武氏がレンズに捉えた対馬の手つかずの自然。平成16年度の長崎県対馬再生プロジェクトとして撮影したものを集大成したのがこの写真集。全編に韓国語訳を併記して韓国の読者にも対馬の魅力を伝える。

序文・高田宏(作家、解説は伊藤秀三(長大名誉教授)と柚木 修(ナチュラリスト)のお二人。韓国語訳は徐賢燮(長崎県立大学教授)、金文洪(済州大学教授)のお二方をお願いした。

水越武氏は、1938年 愛知県豊橋市に生まれ、東京農大林学科を中退後、山岳写真家田淵行男氏に師事した後フリー写真家の道に。日本の山岳、ヒマラヤ、世界の熱帯雨林などを撮影し、数々の受賞歴をもつ。

志岐は麦焼酎発祥の地

モンド・セレクション
大金賞受賞
(2008年)

むぎ焼酎
志岐
オールド

むぎ焼酎
志岐
瀧泉
たきいずみ



◎志岐オールド 720 ml 25度



◎本格焼酎アルコール分27度 内容量1800 ml

むぎ焼酎
志岐
い き

福岡国税局19年度
優等賞受賞



●志岐スーパーゴールド22 720mL (22度)



●むぎ焼酎 志岐 1.8L (25度)

[醸造元] 玄海酒造株式会社

〒811-5125 長崎県志岐市郷ノ浦町志原西触550-1 TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211
◎飲酒は20歳になってから。 ◎お酒は適量を。 ◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう。